

地域アクションプランの取り組み状況と成果

<高知市地域>

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

| 項目名及び事業概要 | 主な課題 | インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと> |
|---|---|--|
| <p>【1 地域の基幹品目の振興(①キュウリ・②メロン):(1/5)】</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p> | <p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産技術の高位平準化 産地のまとまりづくり 難防除病害虫対策の確立 低コスト栽培技術の確立 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> | <p>まとまりのある園芸産地育成事業 現地検討会等の開催(6月末) キュウリ2回、メロン3回</p> <p>ミネキアロザミア野外発生調査の実施(6月末) 5ヶ所×9回</p> <p>黄化エンソ病対策協議会の開催:2回</p> <p>キュウリ選果ライン改修協議 1回</p> |
| <p>【1 地域の基幹品目の振興(①トマト・②イチゴ):(2/5)】</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p> | <p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <p>①トマト・②イチゴ</p> <ul style="list-style-type: none"> 難防除病害虫対策 天敵利用技術の確立 <p>②イチゴ</p> <ul style="list-style-type: none"> 有望品種への転換 育苗期の高温対策 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <p>②新たな販路開拓</p> <p>②環境保全型農業に関する制度(エコファーマー)の継続</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> | <p><①トマト></p> <ul style="list-style-type: none"> 病害虫対策講習会 害虫対策試験圃設置1ヶ所、調査回数 9回(6月末) <p><②イチゴ></p> <ul style="list-style-type: none"> 難防除害虫(ヒラズハナアザミウマ)対策調査圃設置(2ヶ所) 調査回数 5回(6月末) 難防除害虫(ヒラズハナアザミウマ)の薬剤感受性調査(2ヶ所) 調査回数 1回(6月末) <p>①JA高知春野トマト加工品の販売 道の駅15ヶ所、ひろめ市場、空港など</p> <p>②JA高知市 イチゴの消費拡大PRの実施(ひろめ市場1回)</p> |
| <p>【1 地域の基幹品目の振興(新高ナシ):(3/5)】</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p> | <p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 異常気候に応じた技術対策(みつ症、休眠打破不良、晩霜害等) カラス被害軽減対策 有望品種の導入支援 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <ul style="list-style-type: none"> まるはりブランドの維持、拡大 <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工品の開発と生産・販売への支援 | <p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術指導・情報提供(1回) まとまりのある園芸産地育成事業(学びと教えの場開催1回) カラス対策協議会の設立誘導 協議会開催回数1回、研修会〇〇回 現地適応性調査圃場の設置(1圃場) <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 流通販売に関する協議2回、技術支援・指導〇〇回 <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工に関する支援・助言〇回 加工連携事業者紹介1社 |
| <p>【1 地域の基幹品目の振興(①ユリ・②グロリオサ):(4/5)】</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p> | <p><①ユリ></p> <ul style="list-style-type: none"> 生産時期に応じた適正な施肥・灌水管理の徹底 需要の把握と、需要に応じた品種の選定・出荷量の調整 需要拡大に向けた販売促進活動の実施 <p><②グロリオサ></p> <ul style="list-style-type: none"> 秀品率の向上に向けた基本的栽培管理の徹底 アザミウマの効果的な防除技術の確立 オレンジハートの品種特性に応じた適正な栽培管理の徹底 水揚げ環境の改善による輸送事故の軽減 | <p><①ユリ>【JA高知市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目慣らし会・現地検討会3回、市場との販売検討会1回 市場調査 1日 <p>【JA高知春野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目慣らし会・現地検討会3回、市場との販売検討会 1回 市場調査 1日 <p><②グロリオサ></p> <ul style="list-style-type: none"> 部会2回、勉強会1回、市場との販売検討会1回 市場調査 1日 |
| <p>【1 地域の基幹品目の振興(水稲):(5/5)】</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p> | <p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 実証ほの設置・調査 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 「南国そだち」の販売促進 | <p>・水稲と露地野菜の組合せ実証圃(コシヒカリ・南国そだち)設置 4ヶ所、調査回数3回</p> <p>・省力化技術として「鉄コーティング直播」試験圃設置 調査回数 3回</p> <p>・講習会・現地検討会の開催:7回、約145名</p> |
| <p>【2 ショウガの安定供給と消費拡大】</p> <p>◆基幹品目であるショウガ(露地ショウガ、ハウスショウガ)の安定生産と供給、第二次産業との連携による消費拡大とPRのための取組を進め、農家所得の向上を図る。</p> | <p>◆安定生産と供給</p> <p><露地ショウガ></p> <ul style="list-style-type: none"> □臭化メチル代替土壌消毒技術の実証と普及 □貯蔵庫の増設による供給体制の整備 <p><新ショウガ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産技術の高位平準化 ○高温期の品質安定 <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> <p><露地ショウガ></p> <ul style="list-style-type: none"> □エコシステム栽培、エコファーマー認証取得 □「こうち環境・安全・安心チェックシート」の実施 □新規加工品の開発 ○新ショウガ ○消費拡大やPRを担う組織体制の整備 | <p>◆安定生産と供給</p> <p><露地ショウガ></p> <ul style="list-style-type: none"> 臭化メチル代替土壌消毒技術現地実証展示ほの設置・調査・成績書作成、現地検討会・研修会・研究会等の開催(4回) <p><新ショウガ></p> <ul style="list-style-type: none"> 現地検討会、目慣らし会等の開催(2回) 腐敗対策の実施(1回) <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> <p><露地ショウガ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコシステム栽培」導入計画作成支援、「エコファーマー」計画実践支援 ・「こうち環境・安全・安心点検」の見直しと実施への誘導 ・加工品の開発、消費拡大とPR ・JA高知市:新規加工品(生姜スパイス、生姜ジャム(美生柑)、生姜トマト酢、生姜ジャム(アセロラ入)の販売6次産業化、研修会等開催 |

| アウトプット(結果) ＜インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと＞ | アウトカム(成果) ＜アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと＞ | 目標(H23) |
|--|---|--|
| <p>現地検討会等:キュウリ(進捗率22%、参加人数のべ34人) ×ロン(進捗率30%、参加人数のべ26人)</p> <p>発生状況の確認および対策効果の確認</p> <p>黄化エソ病対策協議会の開催(進捗率50%)</p> | <p>黄化エソ病対策として天敵を利用することで、低コスト省力化に繋がる可能性が出てきた。</p> <p>キュウリの販売額 〇億円</p> | <p>主業農家に占める認定農業者の割合45% 基幹10品目の販売額99億円</p> |
| <p>＜①トマト＞ ・黄化葉巻病の発生〇〇%</p> <p>＜②イチゴ＞ ・調査結果に基づく防除対策の検討: 〇回</p> <p>①生ジャム販売数量904袋、金額33千円(5月末) トマトゼリー 1,340千円(5月末) ②5/8の消費宣伝 イチゴ300パック、ジャム35個 売上合計88千円</p> | <p>生産性向上</p> <p>販売額増加 23園芸年度販売額 トマト 〇〇億円(前年比〇〇%) イチゴ 〇〇億円(前年比〇〇%)</p> <p>産地ブランドの維持</p> <p>下級品の付加価値向上</p> | <p>主業農家に占める認定農業者の割合45% 基幹10品目の販売額99億円</p> |
| <p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策 ・対策の実施面積〇〇ha、または発生量の多少 ・学びと教えの場への参加率〇〇% ・カラス対策協議会の設立(5/27) カラス被害対策実施面積〇〇ha ・調査圃場設置(品種:南水)と継続調査</p> <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策 ・販売ルート、販売先の確保(百貨店等〇〇店舗、その他〇〇)</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR ・加工品〇〇品 ・連携事業社〇〇社</p> | <p>・新高梨販売額(試算)〇〇億円(前年比〇〇%)</p> <p>・まるはりブランドの総販売量:〇〇t(前年比〇〇%) (百貨店等〇〇t、アンテナ〇〇kg、系統〇〇kg)</p> <p>・加工原料出荷:〇〇t (リキュール〇〇t、シャーベット〇〇t、ジャム〇〇t、その他〇〇t)</p> | <p>主業農家に占める認定農業者の割合45% 基幹10品目の販売額99億円</p> |
| <p>＜①ユリ＞ 【JA高知市】 参加人数11人(参加率82%) 市場調査参加人数 人、アンケート回収数 枚(前年比 %) 【JA高知春野】 参加人数10人(参加率93%) 市場調査参加人数 人</p> <p>＜②グロリオサ＞ 参加人数23人(参加率33%) 市場調査参加人数 人、アンケート回収数 枚(前年比 %)</p> | <p>＜①ユリ＞ 【JA高知市】共撰率 % (前年比 %) 【JA高知春野】売り上げ 円(前年比 %) 23園芸年度販売額 〇億円</p> <p>＜②グロリオサ＞ ミサトレッド・サザンウィンドにおける秀2L率 % 効果的な防除の実施によるアザミウマ被害軽減率 % オレンジハートの市場評価 23園芸年度販売額 〇億円</p> | <p>主業農家に占める認定農業者の割合45% 基幹10品目の販売額99億円</p> |
| <p>◆安定生産と供給 ＜露地ショウガ＞ 臭化メチル代替技術の現地適応性の評価、現地検討会・研修会・研究会等への出席者(名) ＜新ショウガ＞ 現地検討会等の出席者(名) 腐敗対策の確認</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR ＜露地ショウガ＞ ・「エコシステム栽培」申請のための導入計画策定 ヒアリング、「エコファーマー」技術導入計画実践のため指導を受けた生産者(名) ・「こうち環境・安全・安心点検シート」実施農家(名) ・加工品の開発、消費拡大とPR JA高知市:新規加工品の開発、研修会等参加者数(名)</p> | <p>23年産米の販売額(推計) 〇億円</p> <p>◆安定生産と供給 23園芸年度販売額 億円(前年比 %) 腐敗発生件数 〇件→〇件</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR ＜露地ショウガ＞ ・「エコシステム栽培」認定品として本格販売開始 ・取引先に「安心安全な農産物生産」をPRでき、安定出荷による有利販売につながった</p> <p>加工品の販売額(5月末現在) JA高知市 58千円(前年同期比 %) JA高知春野 221千円(前年同期比 5.0%)</p> | <p>主業農家に占める認定農業者の割合45% 基幹10品目の販売額99億円</p> <p>ショウガの販売額23.3億円 うち露地ショウガ11.8億円 うちハウスショウガ11.5億円</p> |

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

| 項目名及び事業概要 | 主な課題 | インプット(投入) 〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉 |
|--|--|--|
| <p>【3 ユズを核とした中山間農業の活性化】</p> <p>◆中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大に対応できる施設整備や担い手の振興策等の「ユズ振興総合対策」の実施により、中山間地域の活性化を図る。</p> | <p>◆ユズ搾汁施設の整備 ・工程管理による品質と信頼性の向上</p> <p>◆次世代優良母樹の確保に向けた調査と優良苗の生産供給体制の再整備 ・母樹対策指針に基づく活動展開</p> <p>◆出荷予測システムの見直しによる予測精度の向上と販売強化 ・補正指数見直しによる予測</p> <p>◆有機に準じた栽培支援 ・GAPへの取り組み強化</p> <p>◆ユズ振興計画の実現 ・新規栽培者並びに初級者の技術向上 ・果実品質と所得向上対策</p> | <p>◆ユズ搾汁施設の整備 ・高知県版HACCP取得への情報提供・支援(6月末、3回)</p> <p>◆次世代優良母樹の確保に向けた調査と優良苗の生産供給体制の再整備 ・剪定・採種・種木調整等技術指導・支援(6月末、1回)</p> <p>◆出荷予測システムの見直しによる予測精度の向上と販売強化 ・定点圃場調査(4圃場)と予測(6月末、〇回)</p> <p>◆有機に準じた栽培支援 ・GAP研修と実践支援(6月末、〇回)</p> <p>◆ユズ振興計画の実現 ・ユズチーム会の開催(6月末、4回) ・技術情報ペーパーの発行(6月末、3回) ・初級者巡回指導(6月末、2回) ・長期貯蔵試験の実施(11月～3月、予定) ・出荷形態別経営調査(〇月～〇月) ・省防除試験の実施(1圃場、5月～10月、調査回数〇回) ・学びと教える場の開催(6月末、2回) ・生産加工検討委員会の開催(6月末、〇回)</p> |
| <p>【4 中山間地域の暮らしを支える集落営農の推進】</p> <p>◆集落の農業者が協力して、管理が困難となった農地や高齢者等の労力などの地域資源を活用した農業経営を行い、将来にわたって地域で生活できる一定の所得と雇用の場を確保するための集落営農の仕組みづくりを行う。</p> | <p>1集落営農の推進 (1)先進的モデル集落の育成 (2)集落営農組織の確立とレベルアップ</p> | <p>◆先進的(モデル)集落の育成 ・関係機関協議、現地指導(集落座談会、栽培講習会、研修会、先進事例調査等)の実施(6月末、6回)</p> <p>◆集落営農組織の設立とレベルアップ ・課題整理と取組方向の共有(関係機関打合せ、2回) ・説明会、研修会、集落座談会等の実施回数(6月末、10回)</p> <p>(関係事業) ・集落営農普及促進事業 ・展示ほ場設置2カ所 ・集落営農・拠点ビジネス支援事業 ・事業検討、1回</p> |
| <p>【5 四方竹のブランド化による中山間地域の振興】</p> <p>◆全国的に希少性の高い四方竹を高知県のブランド品として育て、中山間地域の産業として振興するため、加工施設の整備等により、生産と地域加工の促進を図る。</p> | <p>◆生産と地域加工の促進 ・四方竹の栽培技術改善に向けた生態調査 ・加工残渣、竹チップの堆肥化等有効利用 ・1次加工場の処理能力(量)の把握と改善策の検討</p> <p>◆加工処理技術の改善と販路の拡大 ・中長期保存技術の改善と普及 ・2次加工品の商品化と販路拡大</p> | <p>◆生産と地域加工の促進 ・生態調査圃場の設置(6月)と定期調査(〇〇回) ・竹チップの園芸作物への利用試験(予定(ニラ、小ネギ)) ・1次加工能力の試算と改善点の検討など(事前打ち合わせ1回)</p> <p>◆加工処理技術の改善と販路の拡大 ・中長期保存試験の実施、検討(6月末、4回) ・2次加工品の販売と販路の確保への支援(1回)</p> |
| <p>【6 鏡川源流域での有機・無農薬等ECO農業と薬草の里づくり:(1/3)】</p> <p>◆「平成の名水百選」に選定された「鏡川」源流域を中心に、有機・無農薬等ECO農業に関する市民の意識の醸成や産地の形成、加工・流通・販売の確立に向けた取組を進め、ECO農業のブランド化を図る。</p> | <p>1 鏡川源流域での有機の里づくり ①販売計画による生産(経営戦略による生産・加工・販売計画の策定と実践) ②加工品部門の確立とHACCP(こうち型)に適合した新工場への移行(準備)</p> <p>2 市民農園 ① 有機農業技術を有するものによる利用者への栽培指導の実施 ② 栽培講習会の実施 ③ 地域の交流拠点としての活用 ④ 鳥獣被害対策の実施</p> | <p>1 鏡川源流域での有機の里づくり ①販売計画による生産(経営戦略による生産・加工・販売計画の策定と実践):必要資源の投入 ②加工品部門の確立とHACCP(こうち型)に適合した新工場への移行(準備):必要資源の投入</p> <p>2 市民農園 ① 農園の管理運営委託契約の締結 ② 新規利用者に対する栽培講習会の実施(1回) ④ 鳥獣被害対策の実施(モグラ捕獲器設置・20箇所)</p> |
| <p>【6 鏡川源流域での有機・無農薬等ECO農業と薬草の里づくり:(2/3)】</p> <p>◆「平成の名水百選」に選定された「鏡川」源流域を中心に、有機・無農薬等ECO農業に関する市民の意識の醸成や産地の形成、加工・流通・販売の確立に向けた取組を進め、ECO農業のブランド化を図る。</p> | <p>鏡村直販店組合の消費者ニーズに基づく直販所と生産体制づくり</p> <p>(1)生産履歴記帳活動の推進 生産履歴記帳活動とフードバック体制の確立を推進し、安全安心な直販所づくりを目指す</p> <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導 出荷・売上データ分析に基づく効率的な生産、販売体制を確立し、需給ギャップの解消を図る</p> | <p>(1)生産履歴記帳活動の推進 ・生産履歴担当者会及び履歴チェック会の開催(6月末、3回)</p> <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導 ・需給ギャップ解消チーム会の開催(6月末、3回) ・入荷・販売データ調査及び消費者動向調査(6月～) ・出荷及び売上データ分析報告会の開催(6月末、〇回) ・推奨作目リストの作成と生産者への掲示(6品目)</p> |
| <p>【6 鏡川源流域での有機・無農薬等ECO農業と薬草の里づくり:(3/3)】</p> <p>◆「平成の名水百選」に選定された「鏡川」源流域を中心に、有機・無農薬等ECO農業に関する市民の意識の醸成や産地の形成、加工・流通・販売の確立に向けた取組を進め、ECO農業のブランド化を図る。</p> | <p>(1)ミシマサイコ ・栽培管理技術の向上 ・作業軽減対策の検討</p> <p>(2)ホンバオケラ ・栽培管理技術の検討</p> | <p>1)ミシマサイコ 栽培指導(栽培講習会、回、人、現地検討会、回、人、現地指導、3回、4人) 生育調査(4回) 作業調査(回)</p> <p>2)ホンバオケラ 栽培指導(現地指導、1回、1人) 生育調査(2回)</p> |
| <p>【7 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上】</p> <p>◆新たな価値を創造する野菜・果実の地区内生産と地区内農産物を活用した新たなレシピや加工品を開発するとともに、当該加工品などの販売を行う「マルシェ併設農産物加工場」を整備することで、6次産業化による春野産農産物の新たな販路確保と農家所得の向上、雇用の創出による地域の活性化を図る。</p> | <p>加工用野菜の栽培技術および計画出荷体制の確立</p> <p>(1)作物毎の栽培技術の確立 ・課題整理および検討会の実施 ・調査ほの設置および調査</p> <p>(2)計画出荷体制の確立 ・加工用野菜リストアップ、価格、量の検討 ・連携農家の振り起こし ・作物毎の生産出荷体制の検討</p> <p>(3)加工品の生産と販路開拓</p> | <p>◆高知県産業振興推進総合支援事業(加工場建築、厨房機器類等の導入) 総事業費 70,139千円(金額は交付決定時の事業費)</p> <p>(1)作物毎の栽培技術の確立 ・調査ほの設置、2ヶ所、調査回数4回 ・検討会の開催、1回</p> <p>(2)計画出荷体制の確立 ・加工用野菜のリストアップ、調査様式の提示 ・青果販売先の開拓</p> <p>(3)加工品の生産と販路開拓、販売 ・工業技術センターを活用したトマト濃縮 ・販売促進の実施(まるごと高知など、3回)</p> |

| アウトプット(結果) 〈インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと〉 | アウトカム(成果) 〈アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと〉 | 目標(H23) |
|--|--|---|
| <p>◆ユズ搾汁施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県版HACCP取得(〇月) <p>◆次世代優良母樹の確保に向けた調査と優良苗の生産供給体制の再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良種木確保率(〇〇%) <p>◆出荷予測システムの見直しによる予測精度の向上と販売強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予測量の情報提供(〇回) <p>◆有機に準じた栽培支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GAP実践農家数〇〇戸 <p>◆ユズ振興計画の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術情報ペーパー総発行部数(1,230部) ・長期貯蔵技術上の要改善点の明示 ・出荷形態別経営のモデルの作成 ・省防除の可否判定、体系化 ・学びと教える場への参加率〇〇% ・新ユズ構造改善計画の作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・H23年産ユズ販売額(H24.2月見込み農家手取り) 〇〇億円 ・H23ユズ総生産量〇〇t、総販売見込み額 〇〇億円(内、加工場の処理量並びに販売見込み額、〇〇t、〇〇億円) <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・把握可能な直近年(H22)の販売確定額 〇〇億円(生産者手取り:22年産仮払い並びに21年産清算金) ・加工残渣処理量〇〇t <ul style="list-style-type: none"> ・収量目標達成した農家割合(〇〇%) ・新ユズ構造改善計画の認定 | <p>ユズの販売額1.7億円</p> |
| <p>◆先進的(モデル)集落の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セツ洲:法人化に向けた課題整理、法人化ビジョンの作成検討 <ul style="list-style-type: none"> ・梅ノ木:組織運営の自立に向けた取組み(直販所への加入、試験栽培の実施) <p>◆集落営農組織の設立とレベルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会、集落座談会、研修会、先進事例調査等への参加者数 ・集落営農についての検討集落数 2集落 | <p>◆先進的(モデル)集落</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セツ洲:法人化ビジョンの作成 ・梅ノ木:組織運営の自立に向けた取組み(試験栽培の実施、協業面積 a)販売金額 <p>◆組織の設立とレベルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織数 〇集落→〇集落 ・集落営農組織のレベルアップ 〇集落 | <p>◆こうち型集落営農モデル組織2組織</p> <p>◆集落営農組織(累計)10組織</p> |
| <p>◆生産と地域加工の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下茎の発育の基礎データの把握 ・利用可否の判定 ・改善点の明示と改善(具体例明示〇〇)、処理能力〇〇t/日) <p>◆加工処理技術の改善と販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期保存技術の確立 ・2次加工品の製品化と販売(販売実績〇〇c/s) | <ul style="list-style-type: none"> ・四方竹の生産量(原料)セツ洲〇〇t、土佐山〇〇t 合計〇〇t(前年比〇〇%) ・四方竹販売額セツ洲〇〇万円、土佐山〇〇万円 合計〇〇万円(前年比〇〇%) ・加工品の販売額 〇〇円 | <p>四方竹の販売額4,200万円</p> <p>*当初目標3,700万円</p> |
| <p>1 鏡川源流域での有機の里づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> ①販売計画による生産(経営戦略による生産・加工・販売計画の策定と実践):目標値以上の達成 ②加工品部門の確立とHACCP(こうち型)に適合した新工場への移行(準備):移行の完了 <p>2 市民農園</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有機農業の技術を有する組織との管理運営委託契約締結により、安定的な指導体制の構築ができた。 ② 新規利用者(参加者4名)に対して有機農業についての理解を深めてもらうことができた。 ④ モグラによる被害を抑えることができた。 | <p>1 鏡川源流域での有機の里づくり</p> <p>2 市民農園</p> <ol style="list-style-type: none"> ①② 農園管理受託先と利用者との間に良好な関係が構築され、農園の管理運営も順調に推移している。 | <p>有機JAS認定事業者数(累計)5事業者</p> |
| <p>(1)生産履歴記帳活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴記帳活動におけるPDCAサイクルの確立(予定) <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡川直販店組合における入荷と売上の現状及び消費者動向を組合員が把握できた(予定) ・推奨作目リストに基づく作付(●品目) | <p>(1)生産履歴記帳活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な直販所として消費者にPRできる <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需給ギャップの解消が計画できる状態にする(〇品目) ・直販店組合の販売額の向上(前年度比△%) | <p>有機JAS認定事業者数(累計)5事業者</p> |
| <p>1)ミシマサイコ 栽培戸数1戸 栽培面積10a</p> <p>2)ホソバオケラ 栽培戸数2戸 栽培面積12a</p> | <p>1)ミシマサイコ 出荷量 kg 出荷金額 円</p> <p>2)ホソバオケラ 出荷量 kg(8a分)</p> | <p>有機JAS認定事業者数(累計)5事業者</p> |
| <p>・高知県産業振興推進総合支援事業を活用して現在加工場を建築中 H23.9操業開始(予定)</p> <p>(1)作物毎の栽培技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用トマトは、夏季の栽培に向く品種であることを確認できた。 ・生育特性、収量性、経済性は調査中 <p>(2)計画出荷体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県園芸連を通じた青果販売を開始した(6月～)。 <p>(3)加工品の生産、販売(〇月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携農家からの原料供給量 688kg(5月末) トマト430kg 生姜180kg ハーブ6kg にんにく12kg たまねぎ60kg | <ul style="list-style-type: none"> ●加工品の生産、販売(5月末) ・加工品販売額 800千円 | <p>農産加工品の販売額1,855万円(H23加工場稼働につき6ヶ月の目標)</p> |

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

| 項目名及び事業概要 | 主な課題 | インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと> |
|---|--|--|
| <p>【8 稲ホールクロープサイレージを核にした 耕畜連携の推進と二期作文化の復活】</p> <p>◆稲WCS(稲発酵粗飼料)の生産・供給により、酪農家の粗飼料自給率の向上を図るとともに、稲WCSを給餌した牛乳として付加価値を高めることで、酪農家の経営安定化を図る。</p> | <p>●耕畜の連携 両者共利益が得る持続的なシステムづくり 高品質・高収量WCS生産・利用 作業マニュアルの策定 水田跡飼料作物の生産・利用促進 堆肥の有効利用</p> | <p>・布師田地区耕作WCS部会設立 ・耕種農家の酪農現場の視察研修</p> |
| <p>【9 生乳加工品の製造・販売による新しい 酪農経営モデルの創出】</p> <p>◆地場産品を活用した安心・安全な生乳加工品を消費者に提供するとともに、観光地や教育の場として牧場を活用するなど、新しい酪農経営のモデル牧場を創出する。</p> | <p>●菓子製造・販売の経営戦略 ○販売促進 ○リピーター確保 (アンケート調査、来客数調査) ○製品開発 ◇牧場の触れあい機能及び地域との連携</p> | <p>○土佐グルメマーケットへの参加 ○県庁生協での外販</p> |
| <p>【10 民有林における間伐の推進:(1/2)】</p> <p>◆建設業者等の異業種と連携し「森の工場」の間伐、作業道等の推進及び、個人所有林を対象にした「協働の森事業」の推進により、放置林の解消につなげる。</p> | <p>◆集約化計画と森の工場計画等各種計画等との関係調整 ◆木材価格の低下に伴い森林所有者、素材加工事業体の事業意欲の低迷 ◆事業予定地の山林の所有者、所有界の確定が困難 (不在村地主、境界確定対応) ◆作業道及び高性能林業機械の効率的作業システムの構築</p> | <p>・森の工場要望調査</p> |
| <p>【10 民有林における間伐の推進:(2/2)】</p> <p>◆建設業者等の異業種と連携した「森の工場」などによって間伐を進めるとともに、個人所有林を対象にした「協働の森事業」の推進により、放置林の解消につなげる。</p> | <p>●事業システムの確立 ●協賛企業の確保 ●事業内容の調整</p> | |
| <p>【11 県産材の地域における需要拡大】</p> <p>◆県産材の利用推進と需要拡大のPR等を行うことにより、木材・木製品の地産地消を推進する。</p> | <p>◆県産材利用推進方針に沿った各部局の取組 ◆県産材利用推進方針に沿った市の取組 ◆県産材利用の民間への波及</p> | <p>・高知里山の家普及促進事業実施に向けて、産業振興総合支援事業(ステップアップ事業)への申請に向けた準備</p> |
| <p>【12 高知市バイオマスタウン構想の実施】</p> <p>木質バイオマスの利用拡大により、林地残材などの未利用資源の有効活用につなげるとともに、荒廃した竹林を整備し、伐採した竹をバイオマスとして有効活用することにより、竹による里山の生態系等への被害の拡大を防ぎ、もって循環型社会の形成や農山村の振興を図る。</p> | <p>◆活用できる公共施設等の把握 ●民間事業者の意向と調整</p> | <p>・市の所管する公共施設について、木質バイオマス利用の可能性調査を協議</p> |
| <p>【13 底曳網による漁獲物の利用及び消費 の拡大】</p> <p>◆高知市御畳瀬地区の底曳網による漁獲物の消費拡大に向けた取組を進め、漁家経営の安定化を図る。</p> | <p>・加工品製造・販売に向けた体制づくり</p> | <p>・実行支援チーム会 1回 ・水産加工業交流促進協議会への参加(1回)</p> |
| <p>【14 冷凍ドロメの販路拡大】</p> <p>◆冷凍ドロメの販路の拡大を図り、生産量を増やすことにより、漁家所得の安定や向上につなげる。</p> | <p>・実施主体の具体的な目標設定 ・活動に対するメンバーの共通認識 ・安定的な製造に向けた体制整備</p> | <p>・実行支援チーム会 1回 ・役員会 1回</p> |
| <p>【15 販路拡大支援の充実】</p> <p>◆地域産品の県外への販路拡大に向けた取組を進め、外貨を獲得することにより、産業の活性化につなげる。</p> | <p>○新たに販路拡大を検討している企業に対し、県外・国外での新たな市場開拓を支援し、企業力を向上していく必要がある。</p> | <p>○高知市販路拡大チャレンジ事業の上半期分を実施(予算 1,700千円)</p> |
| <p>【16 土佐のものづくり企業による地産外商の 推進】</p> <p>◆機械・金属を中心とした「ものづくり企業」の受注拡大や販路拡大に向けた取組により、地場産業の活性化を図り、雇用機会の増大を目指す。</p> | <p>○行政機関・支援機関が一体となった企業支援体制の確立 商談会の開催や見本市への出展がより効果的な企業支援となるよう、各機関との連携・調整が必要である。 (商談会) ・県内受注企業に即した発注企業の開拓 ・受注企業と関係機関との連携 ・中核企業の育成と県内企業間のマッチング (見本市) ・販路拡大効果の高い見本市の選定</p> | <p>(見本市) ・東京ビッグサイトで開催された2011NEW環境展への高知県ブースの出展を行った。</p> |
| <p>【18 環境に優しい未活用資源の有効活用】</p> <p>◆各産業の連携によって、未活用食材を使った商品開発の取組を検討し、「地産地消」「地産外商」「1.5次産業」の推進を図り、産業振興を目指す。</p> | <p>・産業支援機関等との連携による幅広い情報収集と効果的な支援等</p> | <p>・第3回農工商連携マッチングセミナーの参加者を募集した。</p> |

| アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと> | アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと> | 目標(H23) |
|--|--|---|
| | | 飼料稲の栽培面積30ha |
| 県庁生協でのミルクソフトの定期販売(100個/週)の契約成立 | | ●菓子類の販売額1,440万円 |
| ・拡大の予定なし | | 間伐の実施面積250ha うち森の工場の間伐実施面積(25ha)及び素材生産量(2,000m3) |
| | | 間伐の実施面積250ha うち森の工場の間伐実施面積(25ha)及び素材生産量(2,000m3) |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 上半期10社認定 | 【H22年度実績】 ・上半期 6社 助成合計額 1,038千円 (問合せ数 135件、商談件数 105件、成立件数 11件、成約金額 5,620千円、交渉中件数 42件) ・下半期 13社 助成合計額 1,863千円 (問合せ数 271件、商談件数 216件、成立件数 62件、合計金額 64,708,200円、交渉中件数 81件) | |
| (見本市) ・2011NEW環境展:県内企業13社が出展 | (見本市) ・2010NEW環境展の成果 成約34件(46,749千円)、試作依頼11件、見積依頼59件、商談中122件 ・第13回関西機械要素技術展の成果 成約82件(39,237千円)、見積依頼46件、商談中57件 (商談会) ・土佐商談会の成果(23.3現在) 成約109件(5,743千円)、見積依頼15件 ・土佐技術提案商談会の成果(23.3現在) 成約3件(1,100千円)、見積依頼8件、図面待ち8件 | |
| | | |

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

| 項目名及び事業概要 | 主な課題 | インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと> |
|---|---|--|
| <p>【19 はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランに基づく中心部の活性化】</p> <p>◆「おまちの再興」「観光客を呼べるまちづくり」を目指し、「東西軸エリア活性化プラン」に基づき、官民協働でプランを推進し、幅広い経済効果やビジネスチャンスに繋げる。</p> | <p>○官民協働によるプランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民・市民の共通認識の醸成：中心商店街を誇れる県民の「おまち」として残していく意識づくり ・共通の問題意識を持って取り組む関係者間のまとまりの形成：関係者間の合意づくり | <p>□空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市空き店舗活用創業支援事業の継続（H22年度認定分継続 2件） ・高知市空き店舗活用創業支援事業の見直しを検討 <p>□チャレンジショップの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象商店街等への説明会の実施 ・対象商店街からの提案書の提出及び委託契約締結(京町・新京橋) <p>□親しいスペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公園の整備(複合遊具設置等)について、内容検討 <p>□案内板等の充実や多彩なまち歩き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内にある既存看板等の調査 |
| <p>【20 中心商店街でのアンテナショップの運営】</p> <p>◆中心商店街において、常設のアンテナショップを開設し、地域産品の販売促進や都市部の住民を対象にしたマーケットサーチにより、地域の生産者等の収入の確保につなげるとともに、各種の情報提供により、来街者の利便性の向上や商店街の売上げの増加に資する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆魅力ある県産品の販売(県内産品の掘り起こし) ◆テストマーケティングを希望する生産者の掘り起こし ◆カフェにおける地域産品を活かしたメニューの拡大 ◆実施事業に係る商店街関係者(組合、業者等)との連携 ◆「志国高知龍馬ふるさと博」との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・お中元ギフトのパンフレットの作成・配布 |
| <p>【21 多彩なイベントや演出等によるおまちのにぎわいづくり】</p> <p>◆せり出し市等の多彩なイベントや、フラフ等による季節的な演出などにより、おまちのにぎわいを創出する。</p> | <p>【せり出し高いプロジェクトの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値引き市、100円商店街の推進、普及 <p>【フラフ等で季節ごとの演出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲揚場所、時期、フラフ図案等の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・フラフ等のデザイン企画開始 |
| <p>【22 おまちに関する情報発信の充実】</p> <p>◆おまちに関する情報を、より多くの人に届けるために、ガイドブック、ホームページ、ブログ等を幅広く活用し、総合的な情報発信を行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街ホームページの充実 ・中心商店街、てんこす、TMO各ホームページの連携、調整 ・効果的な発信方法の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・中心街HPリニューアル ・ブログ、ツイッターによる情報発信の開始 |
| <p>【23 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上】</p> <p>◆新たな高知市中心市街地活性化基本計画を策定し、多様な主体の参画のもとに、中核市として、にぎわいと活力ある中心市街地の再生を目指し、都市機能の増進と経済活力の向上を図る取組を進める。</p> | <p>【素案に基づく具体策の洗い出し】</p> <p>実効性の伴った事業の掘り起こしによる素案のブラッシュアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心商業地区の魅力の強化 ・活性化の核となる拠点の形成 ・中心市街地内の回遊性の向上 ・中心市街地内のアクセシビリティの向上 など <p>【産業振興計画、高知市地域アクションプランなど、他の計画との整合性】</p> <p>【はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランに基づく事業の実施】</p> <p>【追手前小学校西敷地の土地利用の検討】</p> | |
| <p>【24 清流鏡川や浦戸湾などの地域資源の活用と近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進】</p> <p>◆アユ群れる清流鏡川や浦戸湾などの地域資源を活かした滞在型・体験型観光を推進するとともに、周辺市町村等とのネットワークを強化し、情報発信機能の強化やPR活動の充実、周遊ルートづくりを行うことにより、1泊以上できる観光地づくりを目指す。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・周辺市町村等(仁淀川流域圏・物部川流域圏等)と連携して新しい観光資源を創出することによる観光地として高知市の魅力向上。 | <ul style="list-style-type: none"> ●広域観光推進検討会(高知中央広域市町村圏事務組合主催)参加 ●仁淀川地域観光協議会担当研修会参加 |
| <p>【25 「よさこい」を通じた観光客の誘致と「よさこい」ブランドの確立】</p> <p>◆ 全国に誇れる「よさこい」を通じて、外国人も含めた観光客の誘致と、「鳴子」などの地域物産による「よさこい」ブランドの確立を目指す。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全国に広がり日本の祭りの一つとして成長する高知のよさこい祭りが海外ではあまり認知がされていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆「にぎわい創出よさこい関連事業準備会」にて共用地方車の設備の整備について検討 ●よさこいおもてなし事業着手 ・おもてなし隊オーディション実施(5/26)→7/9のステージデビューに向け研修中 |
| <p>【26 映画を通じた「よさこい」発祥の地としてのアピールと観光客の誘致】</p> <p>◆「よさこい祭り」を題材にした映画の製作を支援し、「よさこい」発祥の地として全国にアピールするとともに、ロケ地を観光ルート化することにより、観光客の増加につなげる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村と連携したロケ地のPR・紹介。 | |
| <p>【27 観光情報の集約と情報発信力の強化】</p> <p>◆観光客の多様なニーズに対応するため、観光と物産に関する情報を集約するとともに、インターネットを積極的に活用して、多様で特色あるPRを推進する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆旅色 ・webマガジン「旅色」の継続的な更新 ★こゆび ・タイムリーな情報の提供 ・コンテンツの充実 | |
| <p>【28 「エンジン01オープンカレッジin高知」の開催を契機とした交流人口の拡大】</p> <p>◆「エンジン01オープンカレッジin高知」の開催で、つながりのできた「エンジン01」会員への高知の魅力のアピールを通じて、県外観光客の誘致につなげる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・高知エンジン03の開催のための推進組織の立ち上げ ・事務局機能を高知商工会議所青年部から高知青年会議所に引き継ぎ(1年毎に交替の予定) ・「エンジン02」の反省を踏まえ、企画内容の早期作成およびエンジン01文化戦略会議事務局とのスムーズな意思疎通を図る | |

| アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと> | アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと> | 目標(H23) |
|--|---|---|
| | | 中心商店街の空き店舗率 増加傾向に歯止め 商店街等の通行量(夏期・休日) 減少傾向に歯止め 観光客の入込み数 300万人 |
| | | 観光客の入込み数300万人 |

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

| 項目名及び事業概要 | 主な課題 | インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと> |
|--|--|--|
| <p>【29 温泉開発による観光地としての魅力の向上】</p> <p>◆観光目的として非常にニーズが高い、温泉を開発することにより、観光客の増加につなげる。</p> | <p>・「高知市温泉観光化ビジョン」の実現に向けたインシヤルコスト、ランニングコストの確保、民間と行政との役割分担の明確化</p> | <p>・高知市旅館ホテル温泉協同組合が5年間の取組内容を高知市議会に報告</p> |
| <p>【30 「龍馬伝」を契機とした観光の振興】</p> <p>◆坂本龍馬の志や生き様に触れようと、全国から数多くの龍馬ファンや観光客が訪れる中で、2010年のNHKの大河ドラマ「龍馬伝」を契機として、さらなる観光振興につなげる。</p> | <p>◆土佐っ歩 ・ボランティアガイド養成講座の定期的実施及びスキルアップ研修の実施による土佐っ歩の更なる魅力向上 ■観光遊覧船 ・団体客向けの企画商品づくり及び団体客の誘致のための旅行代理店等への売り込み ・高知市ふるさと雇用企画提案型雇用創出事業がH24.3末で終了するため、終了後においても専従職員を配置可能とするだけの乗船客数の拡大</p> | <p>◆土佐っ歩 ・既存6コースをリニューアル、特別コース2コース(土佐勤王党コース・長宗我部コース)を新設して実施(4/1～) ■観光遊覧船 ・特別企画の実施 ・4/1～4/15東北関東大震災義援金特別企画 ・5/1～5/6桂浜発着ミニクルージング ★外国人観光客の受入体制の整備 ・高知市立龍馬の生まれたまち記念館での外国語(英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語)パンフレット作成及び音声ペンを使った展示物の外国語ガイド開始(4月～)</p> |
| <p>【31 食による観光の推進と地域物産との連携】</p> <p>◆高知の強みである「食」を活かした観光と地域物産との連携により、観光客の誘致や観光消費額の増加につなげる。</p> | <p>・名物料理提供店舗のマップづくりなど情報発信の強化 ・販売店舗数の拡大、認知度のUP。</p> | |
| <p>【32 土佐の偉人ゆかりの地の魅力向上と情報発信】</p> <p>◆坂本龍馬を始めとする土佐の偉人ゆかりの地の魅力を高めるとともに、県外に情報発信することで、観光客の誘客を図る。</p> | <p>・全国龍馬ファンの集い高知大会を開催することによる龍馬のふるさと高知の魅力の発信 ・長宗我部関連史跡の更なる磨き上げと情報発信の充実</p> | <p>■全国龍馬ファンの集い高知大会実行委員会開催(2回) ●長宗我部元親初陣祭開催(5/22・若宮八幡宮) ◆瑞山記念館 ・リニューアルした瑞山記念館の一般公開(3/17～) ・武市半平太慰霊祭(5/11)に併せて武市半平太直筆の掛け軸を展示(5/11～13)(※普段は複製品を展示) ・瑞山記念館運営委員会による瑞山記念館の周辺整備実施(6月)</p> |

| アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと> | アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと> | 目標(H23) |
|---|--|---------------|
| | | 観光客の入込み数300万人 |
| ■観光客のニーズに沿った企画を行うなどにより乗船客数の増へと繋がった。 (4月～5月の乗船数計1.730人 対前年22%増) | | 観光客の入込み数300万人 |
| | | 観光客の入込み数300万人 |
| | | 観光客の入込み数300万人 |